

＊輝く女性の活動を紹介します

# 活躍する女性たち

（WEWとかち 代表）

若菜 順さん

## 『子どもや若者の居場所を作りたい』

私は、大学卒業後就職し、その後結婚を機に北海道に移り住みました。周りに親戚や知人はなく、初めての北海道での暮らしで子育ては大変でした。子どもの成長を待って再び働き始め、管外への転職もありましたが、家族の理解と協力を得ながら、大学院での学びも深めることができました。こうして様々な経験をし、多くの仲間と出会う中で、『子どもや若者の居場所を作りたい』という夢が芽生えたのです。

10年前、「場所なし！金なし！やる気あり！」と自己紹介しながらWEWとかちを立ち上げ、若者の相談支援をスタートさせ、その後、不登校の子どもをもつ保護者支援や、子どもの学習支援活動を始めました。

あるとき、福祉財団の援助を受け、新たな活動の一環として『おびひろ子ども食堂』を開設することになり、このことが紙面に掲載されたことで、大勢のボランティアの方から、食器類や食材等の寄付をいただき、大いに励まされてのスタートとなりました。その後もたくさんの方々や団体・地

域の方々に応援していただき、少しずつ歩みを進めて今日に至っています。

近年、子どもや若者にとって、社会の中で希望を見いだすことは、さらに難しい状況になってきていると感じます。

その様な状況の中で、この『子ども食堂』は、貧困に苦しむ子どもたちへ食事を提供するだけではなく、学校や家庭以外の第3の居場所として、大人との信頼関係を結べる場所になってきています。子どもを真ん中にして色々な世代が交流することで、地域の横のつながりを広げ、「子どもが子どもらしく過ごせる環境」を地域の皆さんと協力してつくっていきたくと考えています。

## 子ども食堂のようす...



毎回スタッフ10人前後で30食を準備。南商業高等学校クッキング部のみなさんがお手伝いしてくださることも！



↑ 写真中央 エプロン姿の女性が若菜さん

子ども食堂を通して子どもたち同士が心を通わせていく様は、本当に心嬉しいものです。

『おびひろ子ども食堂』  
帯広市西21条南3丁目15-26  
毎月第3土曜日 午後0時半～1時半  
高校生以下無料（保護者300円）

## 推進員 だより



＊帯広市男女共同参画推進員の活動の様子を紹介します

↑ 子育てしながら活動に参加しています

男女共同参画推進員は、帯広市とともに男女共同参画を広げていく市民ボランティアグループで、情報誌「カスターネット」の企画編集や朗読劇の出前講座などを行っています。

私は、小学生と幼稚園児の子どもを育てながら、月に1～2回の推進員としての活動もしています。私が成人して勤め始めた頃と比べると、男女共同参画が進んできていると感じますが、「男は、女はこうあるべき」という考えが根深く残っている分野もありますよね。子どもたちの未来のためにも母視点の「人同士の共同」をしていけたらと思います。

現役ママ&パパ世代の推進員が増えたら嬉しいです。まずは見学からいらしてくださいね！

（文：品田裕子推進員）

## ご意見・ご感想をお待ちしています！

〒080-8670

帯広市西5条南7丁目 帯広市役所 男女共同参画推進課

電話：0155-65-4134 F A X：0155-23-0171

電子メール danjyo@city.obihiro.hokkaido.jp

平成30年9月発行

●発行：帯広市

●企画編集：帯広市男女共同参画推進員

池添 博彦・池田 淳一・伊藤 容子・

遠藤 妙子・川尻れえ子・田沼 誠子・

沼田 秀実・品田 裕子